

令和6年10月からの【長期収載品の選定療養】について

● 後発医薬品のある先発医薬品(長期収載品)の選定療養費について

令和6年10月からの医薬品の自己負担の新たな仕組みとして、後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、特別の料金をお支払いいただきます。

対象区分：在宅薬剤、投薬、注射

- 特別の料金とは、先発医薬品の価格と後発医薬品内(ジェネリック医薬品)での最高価格との価格差の4分の1相当の料金のことを言います。
※ 特別の料金には別途消費税も必要になります。
- 先発医薬品を処方する医療上の必要があると認められる場合や、後発品の在庫状況等から後発品の提供が困難な場合は特別の料金は発生いたしません。



厚生労働省の特設ページに長期収載品の選定療養化に関する医療機関向けの【掲示ポスター】及び患者向けの【案内チラシ】が公開されています。

長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養の【対象医薬品リスト】も掲載されています。

詳しくはこちら ↓ 「後発医薬品のある先発医薬品(長期収載品)の選定療養」について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39830.html

【参考】30(5)長期収載品の処方等又は調剤を行おうとする保険医療機関又は保険薬局は、本制度の趣旨を患者に適切に情報提供する観点から、(1)に示す本制度の趣旨及び特別の料金について院内の見やすい場所に患者にとって分かりやすく掲示しておかなければならぬこと。

また、当該掲示事項について、原則として、ウェブサイトに掲載しなければならぬものとすること。ただし、自ら管理するホームページ等を有しない保険医療機関又は保険薬局については、この限りではない。なお、ウェブサイトへの掲載について、令和7年5月31日までの間、経過措置を設けている。

保医発0327第10号 令和6年3月27日より抜粋

コメントマスターについて

長期収載品を処方しても、医療上の必要があると認められる場合は引き続き保険給付の対象となります。その際、レセプトの「摘要」欄に長期収載品の選択式コメントの記載が必要となります。

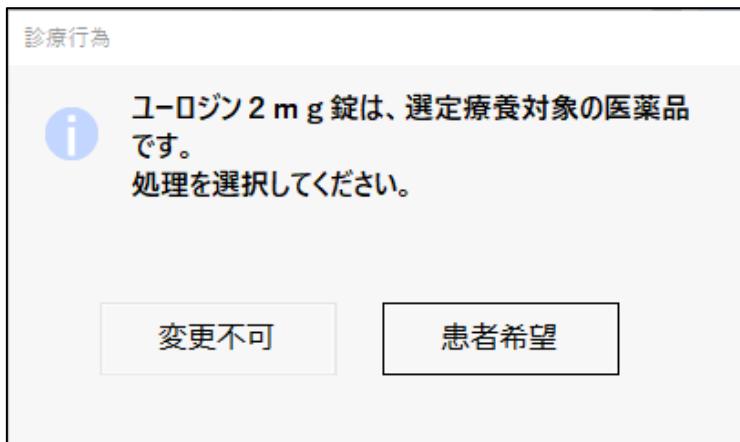
■ 別表I

診療行為 名称等	レセプト電算処理 システム用コード	左記コードによるレセプト表示文言
長期収載品の選定療養に関する取扱い	820101320	長期収載品と後発医薬品で薬事上承認された効能・効果に差異があるため
	820101321	患者が後発医薬品を使用した際、副作用や、他の医薬品との飲み合わせによる相互作用、長期収載品との間で治療効果に差異があったため
	820101322	学会が作成しているガイドラインにおいて、長期収載品を使用している患者について後発医薬品へ切り替えないことが推奨されているため
	820101323	剤形上の違いにより、長期収載品を処方等の必要があるため
	820101324	後発医薬品の在庫状況等を踏まえ後発医薬品を提供することが困難なため

カルテの入力について

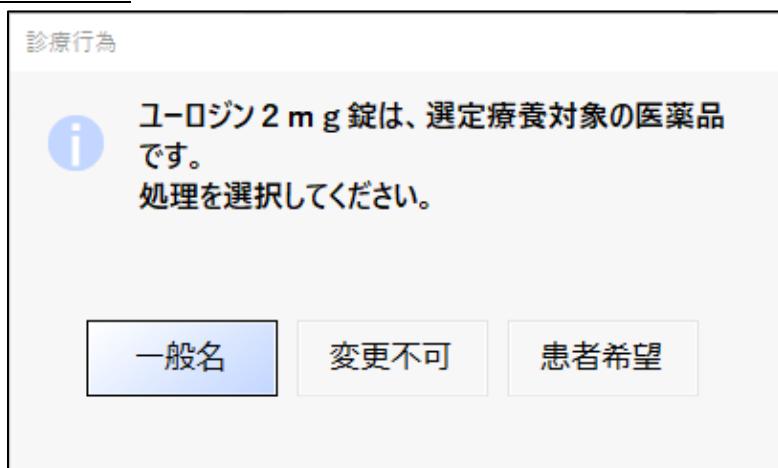
長期収載品の処方に係る選定療養の対象医薬品を入力した場合、メッセージが表示されます。
DO 入力、セットからカルテに反映した場合も、同様にメッセージを表示します。

□ 院内処方の場合 (例:ユーロジン 2mg 錠)



医療上の必要性があり、保険給付とする場合は **変更不可** を選択します。
患者希望の場合は **患者希望** を選択します。

□ 院外処方の場合 (例:ユーロジン 2mg 錠)



一般名で処方をする場合は **一般名** を選択します。
医療上の必要性があり、保険給付とする場合は **変更不可** を選択します。
患者希望の場合は **患者希望** を選択します。

●補足

メッセージは長期収載品の対象医薬品にフラグの設定がない場合に表示されます。
医薬品名称の前に「△」や「▲」、「◇」がある過去カルテを DO、あるいはセットにいづれかのフラグがある場合は表示されません。

<カルテ入力例>

I. **変更不可** を選択した場合

レセプトコメント選択画面が表示されます。該当するコメントを選択し、**決定** をクリックします。

ユーロジン 2 mg 錠

検索対象 F1:切替
○ マスタ ○ 辞書 ◎ マスタ & 辞書

レセプトに出力するコメントを選択してください。

名称
<input type="checkbox"/> 【マスタ】
<input type="checkbox"/> 【辞書】
<input checked="" type="checkbox"/> 長期収載品と後発医薬品で薬事上承認された効能・効果に差異があるため
<input type="checkbox"/> 患者が後発医薬品を使用した際、副作用や、他の医薬品との飲み合わせによる相互作用、長期収載品との間で治療効果に差異があったため
<input type="checkbox"/> 学会が作成しているガイドラインにおいて、長期収載品を使用している患者について後発医薬品へ切り替えないことが推奨されているため
<input type="checkbox"/> 剤形上の違いにより、長期収載品を処方等の必要があるため
<input type="checkbox"/> 後発医薬品の在庫状況等を踏まえ後発医薬品を提供することが困難なため

決定 **閉じる**

薬剤の数量入力テンキーが表示されます。処方数量を入力し、**確定** をクリックします。

ユーロジン 2 mg 錠数量

1		
7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	.	CE
継続	確定	閉じる

医薬品名称の前に変更不可フラグ「▲」が付き、直下に選択したレセプトコメントが入力されます。
用法コメントを入力し、括りを確定します。

内服薬(内)	
▲ユーロジン 2 mg 錠	1 錠
長期収載品と後発医薬品で薬事上承認され...	
1 日 1 回朝食後に	14 日分

II. 患者希望 を選択した場合

医薬品名称の前に患者希望フラグ「◇」が付きます。用法コメントを入力し、括りを確定します。

内服薬(内)	
◇ユーロジン 2 mg 錠	1 錠
1 日 1 回朝食後に	14 日分



システム予約マスター「099209909 先発医薬品患者希望」は自動送信されるため
カルテに入力は不要です。

<ORCA 診療行為画面>

.211	* 内服薬剤 (院内処方)	
611120081 1	【睡般先長】ユーロジン 2 mg 錠	1 錠
099209909	【先発医薬品患者希望】	
Y01001 *14	【1 日 1 回朝食後に】	1 X 14 14 (14)

<処方フラグの変更方法>

変更したい薬剤名で右クリックし、表示されたコンテキストメニューから変更するフラグを選択します。

例) 「変更不可」から「患者希望」に変更する場合

「患者希望切替:◇」をクリックすると、「▲」から「◇」にフラグが変更されます。

